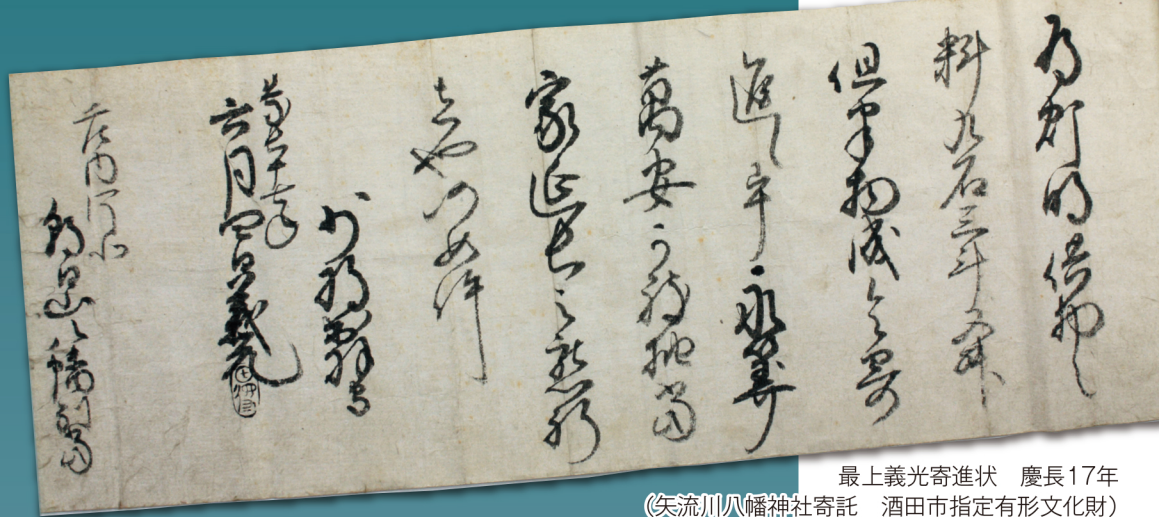




矢流川八幡神社 参道



最上義光寄進状 慶長17年
(矢流川八幡神社寄託 酒田市指定有形文化財)

第203回企画展

武士の時代

中世庄内のつわものたち

◆開催期間

平成29年 9月9日(土)
～ 11月18日(土)

◆開館時間：午前9時～午後4時30分

◆入館料：一般 100円 学生 50円
(土日は小中学生無料)

◆休館日：開催期間中無休

※展示変更に伴う休館日：9月5日～9月8日
11月19日～11月22日

11月3日は「文化の日」
当日は資料館入館無料!



亀ヶ崎城跡出土木簡「なまり玉式千入百分」慶長五年 志田修理亮宛
(山形県埋蔵文化財センター蔵)



朝日山城主 池田盛周の兜
(矢流川八幡神社寄託 酒田市指定有形文化財)

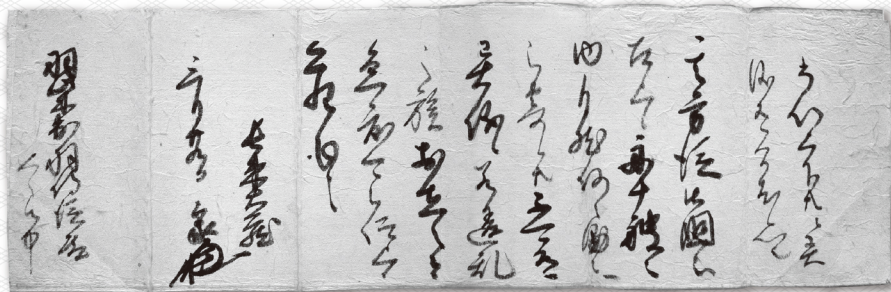


亀ヶ崎城内絵図
(山形県立酒田東高等学校蔵)

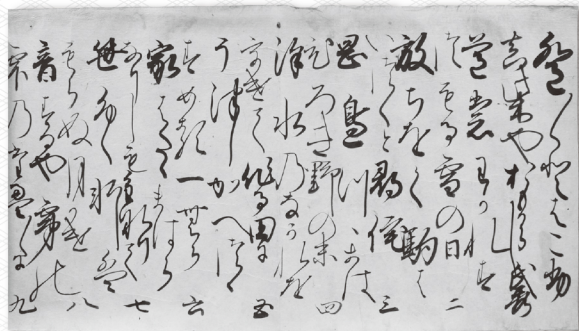
酒田市立資料館

998-0046 山形県酒田市一番町8-16
TEL/FAX 0234-24-6544

sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



長束正家より最上義光宛「過所状」((公財)本間美術館蔵 酒田市指定有形文化財)



観音寺城主 来次氏秀「夢想之連歌」(部分)
慶長13年(個人蔵 酒田市指定有形文化財)



亀ヶ崎城主 志村伊豆守光安使用 鎧(青原寺蔵)

平安末期、貴族が世の中を支配する政治が衰える中、力をつけたのは「武士」たちでした。庄内には多くの地方豪族が住み、戦国時代に大きな勢力となった武藤氏をはじめ、砂越氏・池田氏・来次氏・東禅寺氏らが時に対立し、時に協力し、しのぎを削りました。中世末期になると、有力大名である上杉景勝と最上義光が争う戦場となります。

この乱世の時代には、何度も庄内各地の町は焼かれ、多くの人が戦乱に倒れましたが、四百年以上の長い年月が経過した今は、古文書や石碑などから、当時の動乱を想像するほかありません。

今回の企画展では、今も酒田に伝えられる書状や古文書、武具などを展示し、争乱の歴史や武士たちの心情をひも解いてゆきます。

協力者一覧 (五十音順)

酒田市立光丘文庫、青原寺、(公財)本間美術館、村上市郷土資料館、村上泰司氏、最上義光歴史館、山形県立酒田東高等学校、(公財)山形県埋蔵文化財センター

調査員による展示解説

日時 9月30日(土) 午前10時より(1時間程度を予定)
会場 酒田市立資料館一階企画展示室
料金 無料(入館料別途必要)

※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。

フィールドワーク 中世さかた城跡めぐり

バスに乗って移動し、城跡(亀ヶ崎城・砂越城・朝日山城)・石碑などを見学します。小雨決行・荒天中止。

※一部足場の悪い箇所があります。小雨の場合はルートを変更する場合があります。

日時 10月7日(土)
午前9時希望ホール正面入り口前集合、
午後0時30分ごろ終了予定

定員 15名
料金 30円 ※保険料です。当日お持ちください。

★どちらも9月9日より参加受付いたします。参加希望の方は資料館(24-6544)までお電話ください。

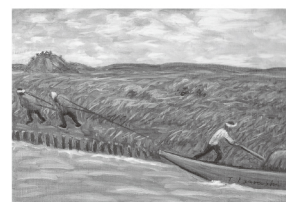
没後25年

♪岸洋子メモリアル 特別展示♪

2階常設展示室にて
同時開催中!

次回企画展予告

本間美術館・酒田市立資料館 合同企画展
絵と写真でつづる酒田



平成29年 11月23日(木)～
平成30年 2月12日(月)